

総合物流企業(株)流通サービス様の点呼・運行管理の高度化 事例
 運転免許証チェックと酒気帯びチェックを同時にできる
 『ALC-miniIV』を全国90カ所に一斉展開！

IT点呼システム及びアルコール検知器を開発販売する東海電子株式会社(本社：静岡県富士市 代表取締役 杉本 哲也)は、この度、[株式会社流通サービス](#)(本社：埼玉県草加市遊馬町769-1)様にIC運転免許証リーダー内蔵型アルコール検知器 [ALC-miniIV](#)が90拠点に採用されたことをご知らせ致します。

記

1. 簡易型から据置型アルコール検知器への買い換え動機

同社は簡易式のアルコール検知器を使用していましたが、センサ感度が悪いことが難点となっていたとのこと。昨今の新型コロナウイルス感染予防対策として、荷主からの要望もあり、より衛生的でセンサの感度と精度の高い据置型の検知器の検討を行うことになったという。

2. ALC-miniIVを採用した背景

単純操作で飲酒、酒気帯びの確認が正しく行えることは勿論、それ以外にもIC運転免許証リーダーが内蔵されており、運転免許証不携帯の防止や、運転免許証有効期限切れを「水際で」防ぐことができるというメリットからALC-miniIVが採用されました。

3. ALC-miniIVを導入したことによる効果

本機にはIC運転免許証リーダーが内蔵されていることで、運転者自身が有効期限について確認できるようになり、運転者の運行管理意識が高くなった。また、簡易型検知器では曖昧になっていた、検知器の校正時期や免許証の有効期限把握など、管理者の意識向上にも繋がったとのこと。

よくある課題	ALC-miniIV導入後の姿
<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許証有効期限、アルコール測定結果は紙管理 ・運転当日運転免許証有効期限が切れていた ・運転免許証所持確認は「声かけ」「提示」のみ ・運転免許不携帯、有効期限切れで運行してしまつたら・・・ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ドライバー・管理者の意識が高まります ○記録改ざんをさせない測定が可能です ○測定記録は、ロール紙またはUSBに出力します ○運転免許証有効期限が一目で分かります 

4. (株)流通サービス様の今後の取組み

弊社で定期的に開催している無料セミナーを活用し、全体集会の際に「安心・安全・健康」についての教育を実施する予定だという。併せて、業界の重点課題となっている飲酒運転撲滅の強化を

していくとのこと。

5. ユーザレポート

なぜ導入を決めたのか？ 現在の使い方は？ 以下詳細はレポートをご覧ください。

●簡単ワンクリックでレポート閲覧可能です！

- ・ユーザレポートは[こちら](#)
- ・運輸安全 JOURNAL 特集は[こちら](#)

●購入方法

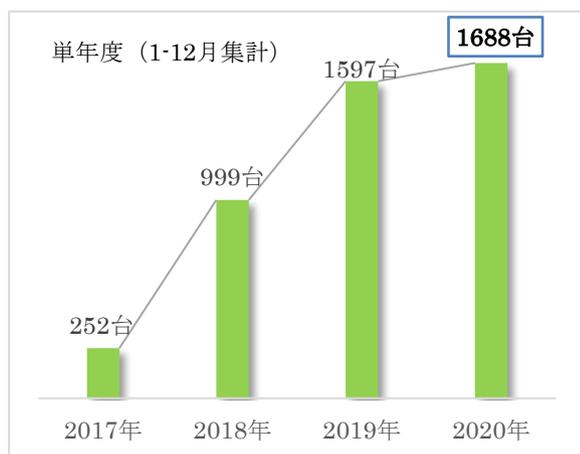
- ・EC サイトからの購入は[こちら](#)

ネットショップ販売特別、今だけ専用マウスピース・記録用ロール紙がついています。

- ・その他製品に関するお問合せは[こちら](#)

6. データ・製品動画

【簡単操作 IC 運転免許証リーダー 一体型据置式アルコール検知器 ALC-miniIV出荷状況】



【製品紹介動画 ワンクリックで再生可能です】



問い合わせ先 東海電子株式会社 営業企画部
東京都立川市曙町 2-34-13 オリピック第3ビル 203

E-mail: info@tokai-denshi.co.jp

東海電子コーポレートサイト : <http://www.tokai-denshi.co.jp>

東海電子公式ECサイト : <https://shop.tokai-denshi.co.jp/>

東海電子メディアサイト : <https://transport-safety.jp/>